

2009年6月21日 主日礼拝



石の枕

私はアメリカが大嫌いです。それは戦争をし続けているからです。一日も早く人殺しが止まるように祈っています。

しかし、私はアメリカが大好きです。それは自分の国の多くの難問と世界の多くの困難に勇敢に取り組んでいるからです。いま日本の中学校の教科書に、I have a dream. というキング牧師のスピーチが載っていますが、この願いが、時を経て、黒人が大統領になるという決定的なかたちで達成されたのです。

もし日本の国で、モンゴル人の大臣、ブラジル人の知事、韓国人の首相が登場したらどうでしょう。スポーツの世界だから大目に見えても、いざとなると考えられないほどに大変なことです。

ところが、アメリカという国は、戦争の継続は超愚かですが、「多部族国家」としての自分たちの弱点、特に黒人差別という問題を、痛みを感じながら克服してきた歴史があります。こういうことの評価は高いと思います。

先週、島崎藤村の「破戒」を読みました。

主人公の瀬川丑松がずっと隠してきた穢多(エタ)という言葉は差別用語で、使ってはいけないことばです。明治に入って士農工商という身分制度が廃止され四民平等となったのですが、そこからはじかれてしまった人たちがいて、その人たちをそう呼んで差別したのです。

破戒の戒とは、絶対に素性を明かすなという戒めです。せっかく教員という非常にしっかりした仕事に就いたのだから、この職を守るためには素性を隠さなければいけない。しかし瀬川は「戒」めを「破」って告白してしまうのです。

教え子たちが、この告白によって、差別意識を克服する人間になってほしいと願って教員職から去ります。生れが卑しくて、立派な考えをもってほしいとの勇気ある行動です。藤村がこの小説を書いたことによって、日本の国のなかで差別意識というものがいけないものなんだという認識が広まったと言えます。そう意味では、キング牧師も藤村も未来世代の意識の変革を促すものです。

大川も未来世代の意識の変革に命を懸けていますが、力不足で時々落ち込みます。祈って下さい。今日の説教は、そういう視点で取り組んでいます。日本は変えていただかなければならない。「父の日」にあたっての「教会のグランパ」の告白です。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!
Aコース:使徒5章~8章 Bコース:エステル記1章~ヨブ記12章

「ペテロが言った、『金銀はわたしには無い。しかし、わたしにあるものをあげよう。ナザレ人イエスキリストの名によって歩きなさい。』」(使徒三の六)

司会 ①山本登兄 ②岸兄 ③原健兄

奏楽

祈祷 ①三浦兄 ②川田兄

賛美 聖歌597番 (父なる神の恵は)
(地上では旅人)(そば近くおらせたまえや)

主の祈り

聖書 ① 創世記21章1~7節

②③ 使徒行伝3章1~10節

音楽 ① 北島美佐子姉

②③ 佐藤由紀姉

メッセージ ① 「笑う理由」 梶山直樹副牧師

②③ 「人間が人間であることのしるし」 大川従道牧師

賛美 「主のみ手にたよる日は」(503・献金)

頌栄 「ハレルヤ」

祝 禱

【大和ニュース】

- ・ 今日「父の日」。お父さんの存在を心から感謝します。おめでとうございます。
- ・ 本日、入門講座Ⅲ、ルツバラ会、SS教師、GM、VIP日吉等あり。
- ・ J. PLUSは、「プレ・サマーライブ」 昼2時。若者全員集合！森チャペル。
- ・ 今週も祈祷会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は倉知副牧師。
- ・ 福音礼拝は火曜昼2時半。説教は坪井副牧師。
- ・ 準備祈祷会は、金曜夜9時。説教は大塚伝道師。心を合わせて祈りましょう。
- ・ 英語礼拝は、土曜夜7時。説教はオカムラ宣教師(生・日本語訳あり)
- * ご婚約おめでとうございます!! 森川良二様と古谷裕子様。第3礼拝後。
- * 今年も半年守られたことを感謝し、「上半期感謝献金」を捧げましょう。これは内外の伝道者・宣教師の家庭を支えるために用いられます。袋は受付で。